

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉の原理A	HSP11-005	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
増田 洋介	B310	yosuke.masuda	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;精神障害のある人をどう捉えるか、精神障害のある人を取り巻く社会構造はどのようなものであるのかを学び、排除や社会的障壁を除去する取り組みについて理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;精神保健福祉の基本理念をもとに、精神障害者の社会的立場や排除の構造について課題認識し、どのような取り組みが重要かについて理解と考察を深められるよう授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 (      )				
学習上の助言	メンタルヘルスの課題を他人事ではなく自分に関係する事柄として捉え、授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用して理解や考察を深めてほしい。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	「精神障害」「精神障害者」の捉え方について理解し説明することができる。			HSU(1)~(3)、HC(1)、(3)、(5)	
②	精神障害者の排除の歴史と構造について理解し説明することができる。			HSU(1)~(3)、HC(1)、(3)、(5)	
③	精神障害者の排除や社会的障壁を除去する取り組みについて理解し説明することができる。			HSU(1)~(3)、HC(1)、(3)、(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。	講義	シラバスを精読する。	4	
2	[障害の捉え方と障害者福祉の理念①] 障害の捉え方について学ぶ。	講義	教科書第 1 章第 1 節を精読する。	4	
3	[障害の捉え方と障害者福祉の理念②] 障害者福祉の理念について学ぶ。	講義		4	
4	[国際生活機能分類 (ICF) と精神障害] ICF の概要と ICF の視点に基づく支援のあり方について学ぶ。	講義		教科書第 2 章第 2 節を精読する。	4
5	[精神障害の「障害特性」] 精神障害の「障害特性」について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 3 節を精読する。	4	
6	[制度における「精神障害者」の定義] 各法律における「精神障害者」「障害者」の定義について学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 1 節を精読する。	4	
7	[精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流] 精神障害者に対する見方を変える取り組みについて学ぶ。	講義	教科書第 2 章第 4 節を精読する。	4	
8	[小まとめ] 前半の授業の小まとめを行う。	講義	これまでの授業内容を復習する。	4	
9	[日本における排除の歴史と構造①] 戦前までの日本における精神障害者の排除の歴史と構造について学ぶ。	講義	教科書第 1 章第 2 節、第 3 章第 2 節を精読する。	4	
10	[日本における排除の歴史と構造②] 1980 年代までの日本における精神障害者の排除の歴史と構造について学ぶ。	講義		4	
11	[日本における排除の歴史と構造③] 2000 年代前半までの日本における精神障害者の排除の歴史と構造について学ぶ。	講義		4	
12	[日本における排除の歴史と構造④] 2000 年代半ば以降の日本における精神障害者の排除の歴史と構造について学ぶ。	講義		4	
13	[諸外国における排除の歴史とその後の展開] 諸外国 (主に欧米) における精神障害者の排除の歴史とその後の展開について学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 1 節を精読する。	4	
14	[日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取り組み] 精神障害者の排除や社会的障壁を除去する取り組みについて学ぶ。	講義	教科書第 3 章第 3 節を精読する。	4	
15	[まとめ] これまでの授業の総括を行う。	講義	これまでの授業内容を復習する。	4	

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		70	0	0	0	30	100	
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～③について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。				正答や模範解答を Teams で公表する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。授業内容の理解や取り組み状況等を確認し、評価する。				次回授業時にフィードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験								
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえながら、教員自身の実務経験で得た具体例（個人、団体等の特定ができないよう加工）を挙げて説明し、理論知と実践知の両面から理解を促すよう工夫する。							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉士資格取得希望者は必ず履修すること。</li> <li>授業翌日の 23:59 までに Teams でリアクションペーパーを提出すること。特段の事情なく提出期限を過ぎた場合は減点する。</li> <li>生成 AI (ChatGPT 等) を使用してリアクションペーパーを記入することは禁止する。</li> <li>受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</li> <li>今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われることがある。</li> </ul>							